

令和3年度使用中学校用教科用図書（「教科名 理科」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
理科	啓林館	<p>○科学的に探究する力の育成を図る工夫に関わって 単元の導入では不思議な1枚の写真や身近な現象を示し、生徒の気づきを促すように工夫している。巻頭のガイダンスを充実させているだけでなく、探究過程を繰り返すことを求める構成になっており、学習スタイルが経験的に身につく。また、学びを深めるために、理科の見方・考え方をヒントで示すなどの工夫がみられる。「みんなで探Qクラブ」というページで探究のテーマや方法を詳しく紹介しており、生徒が自ら学べるようになっている。</p> <p>○学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める工夫に関わって 生徒の興味・関心に沿った内容の「お仕事ラボ」・「部活ラボ」・「料理ラボ」などのコーナーが随所に用意されており、科学の有用性を感じさせることができる。他社にない特徴として、研究倫理の問題が取り上げられている。道徳との関連が図られており、現代社会における人と科学の在り方を考える機会を与えることができる教科書となっている。</p> <p>○教材の内容を理解させる工夫に関わって 他教科や他単元との関連を意識した編集とともに、問題集としての活用も図られるようになっている。基礎・基本から例題と演習、基本にチェック、教科書への書き込みスペースなどが他社と比較して充実している。単元のまとめで例題として活用できる。さらに、素朴概念を紹介し、生徒自身が自分の学びを自己点検できるような教科書になっている。</p> <p>○本校の研究に関わって 学習内容と現代的な諸課題を結び付けるとともに、学習の系統性や教科横断的な観点を踏まえながら編集されている。また、理科の見方・考え方を働かせながら、課題を解決していく構成になっている。以上のような方針で編集されており、知識と知識を関連付けながら追求する力や論理的に問題を解決する力、複眼的に思考する力の育成や獲得につなげていくことを期待できる。</p>